

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌.....平成 25 年 9 月号

猿ヶ石川通信

Vol.3

- 第 1 面 トピックス 第 1 回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会開催
- 第 2 面 ニュースファイル E ボートレース大会、今泉吉晴氏講演会、第 2 東和丸に屋根設置
- 第 3 面 インタビュー 田瀬ダム水源地域ビジョン策定委員長：高橋薫さん、他
- 第 4 面 インフォメーション マイリバー猿ヶ石、カップの川流れ調査、山仕事講座、他

猿ヶ石川流域トピックス

第 1 回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会

田瀬湖をみんなでクリーンアップ

猿ヶ石川上流と下流の市民約 130 名が

田瀬湖のゴミ約 1.5 トン回収

清掃活動を通じ
河川環境への理解を

4 月 27 日(日)、「第 1 回田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会」が田瀬湖周辺で開催されました。

このイベントは、猿ヶ石川の上流と下流に住む市民が、一つの川で繋がる者同士として共に汗を流しながら、河川を中心とした



川柳を考える余裕もなく、みんなゴミ拾いに夢中。

自然環境への理解を深めることを目的として開催。

昨年までは、NPO 法人遠野エコネットが中心となり「猿ヶ石川ごみ川柳大会」として柏木平地区で 6 回行ってきました。今年はこちらを引き継ぐ形で、田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会を母体とする猿ヶ石川上下流域の団体で実行委員会を発足。運営会議 3 回と下見会 2 回を行

うなど、準備を慎重に進め、ゴミ処理も花巻市において、協賛団体や花巻の川柳会とも打合せを重ね、当日を迎えました。

大量のゴミに
驚きの声

当日の天候は曇り空。集合場所は、田瀬湖 B & G 海洋センター。田瀬地区民を

含め約 130 名(名簿記入者は 119 名)が参加しました。B & G 海洋センターにて開会行事を行った後、

陸上バスと水上バスに分かれ、陸上バスは約 1km ほどを徒歩で、水上バスは漁協や地区民の船に乗り移動。

目的地である入り江に着くと、大量のゴミが散乱した状況に、参加者からは驚きの声が上がっていました。

ゴミの中には、古タイヤやドラム缶などから、細かいプラスチックゴミまであり、袋一杯のゴミを持ち坂を上り下りしながら、爽やかな汗を流しました。

今回回収したゴミは、可燃ゴミ

が 570 kg、不燃ゴミが 960 kg。合計 1530 kg でした。

ゴミ拾いの後は、海洋センターに戻りゴミの分別。拾ったゴミとの記念撮影を終え、いよいよ頭をひねっての「ごみ川柳」作り。花巻川柳会による選考の間、水辺での遊びのための安全講習も行われました。

川柳の選考が終わり、閉会式にて川柳入賞者 10 名の発表。協賛団体からの賞品が授与されました。また、大会終了後には、田瀬地区のお母さん達に作っていたいただいた美味しい豚汁が振る舞われました。



拾ったゴミとの記念撮影。みんなの笑顔がはじけました。

猿ヶ石川流域ニュースファイル



今年のレースでは地元チームが大活躍しました。

**Eボートレース大会に
推進協議会も参戦!**

7月28日(日)、田瀬湖湖水まつりの一環として、とうわB&G海洋センターにてウオーターズポーツフェスティバルが開催されました。

フェスティバルのメイン行事は毎年恒例のEボートレース大会。Eボートと呼ぶ手こぎボートに、舵取り1名、号手1名、こぎ手8名の合計10人が一組となつて乗船往復約

300メートルのコースでタイムを競います。

今年は、全14チームが県内各地から集い、オールを手に優勝を目指し熱戦が繰り上げられました。大会を盛り上げるために、猿ヶ石川上下流の各種団体により構成されている田瀬ダム水源地域ビジョン推



レース大会には子供達の姿もありました。

進協議会からも1チームが参戦しましたが、ほとんどが初心者ということもあり、残念ながら予選落ちとなりました。

優勝は地元田瀬の小倉地区民による「コミック

元民ⅢFINAL」が入り、長年の経験と日頃の練習成果？が見事に発揮され、田瀬地区民が上位独占となりました。

とうわ野鳥の会 今泉吉晴氏講演会

8月3日(土)、花巻市東和町東図書館にて、とうわ野鳥の会が主催する「道草いっぱい」野生の動物と知り合う」と題する講演会が開催されました。

講師は、都留文科大学名誉教授の動物学者である今泉吉晴氏。今泉氏は、国内のムササビ研究の第一人者であり、また、シートン動物記の翻訳者としても著名な方です。この春から、東和町に永住することが決まり、そのご縁で講演会が実現しました。

講演会には、東和町内は



動物とのふれあいを語る今泉吉晴氏。



講演に聞き入る会場いっぱいの参加者。

もちろん、岩手県内各地から120名が集まり、今泉氏が語る長年の森の動物達との交流から生まれた興味深い話や動物達の映像の世界を堪能しました。

今泉氏は、「人が自然と共に生きて行くため、その環境を観察し知ること」の大切さを話し、また、東和町の土沢地区がムササビやリスが棲めるような木陰のある緑豊かな環境にしたいと、町づくりへの提案も述べていました。

田瀬湖の文化遺産 第二東和丸に屋根

この夏、田瀬地区中通の眺望園地さわやかトイレ付近に展示されている「第二東和丸」を風雨から守るため、花巻市により強化パイプハウス製の屋根が設

置されました。

「第二東和丸」は、木造船だった「第一東和丸」が老朽化したために鉄製に作られ、昭和45年から昭和57年まで、田瀬湖の向い田瀬地区と中通の約1キロメートルの湖上を結ぶために活躍。船体の長さは9・5メートル、幅2・5メートルの19人乗りで、乗船は無料で、通学や通院、荷物の運搬等に利用されました。最盛期は一日7往復運行し、冬場は砕氷して航路を確保するため、夜中も3回程運行。所要時間は夏場は10分、冬場は30要しました。

田瀬地区コミュニティ会議では、新たに塗装を行い、運行されていた当時の「第二東和丸」が綺麗に甦りました。



屋根がかけられた文化遺産、第二東和丸。

猿ヶ石川流域インタビュー



田瀬ダム水源地域ビジョン 策定委員長

高橋 薫(たかはし かおる)さん

昭和 12 年、中国東北部(旧満州)生まれ。岩手大学学芸学部卒業後、岩手県内小中高校の教職に就き平成 9 年退職。この間、平成 5 年より 2 年間県立東和高校校長を務める。その後、1 年間富士大学の非常勤講師を経て、現在は同大学経済学科教授。平成 16 年田瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会委員長に就き、平成 18 年の同ビジョン策定後は、同ビジョン推進協議会アドバイザー。共著に『岩手県の不思議辞典』他多数。76 歳。

田瀬湖ボート競技の 仕掛け人

私が田瀬ダム水源地域ビジョンの策定委員長に就いたのは、村井宏さんからの推薦があったのではないかと思います。村井さんも私も、東北地域環境研究会に所属していて、よく知った仲でした。村井さんは、田瀬ダムより先行して平成 14 年に策定された「御所ダムビジョン」の策定委員長を務めていました。その他に私は、2 年間東和高校の校長に就いてましたから、その時に、東和の方々とお付き合いしました。父母懇談会などで、田瀬地区にも顔を出したりしてましたね。

昭和 45 年の岩手国体で、ボート競技は湯田の錦秋湖でやったんですが、その時に私の父が担当者になっていました。水量の確保に随分苦労していたんです。それに比べると、田瀬湖は貯水量が安定している。そこで、当時の小原東和町長に、ボート競技コースの整備を提案したんです。そう



ボート大会に賑わいを見せる田瀬湖畔。

すれば、大学のボート部が合宿等に来ることも考えられた。3 年後の平成 28 年岩手国体では、正式に田瀬湖でのボート競技が決まりましたよね。

上下流の市民が つながるイベントを

私が田瀬ダム水源地域ビジョンの策定に当たって大事にしたいと考えていたのは、環境問題なんです。田瀬ダムでは、その当時アオコが発生して問題になっていましたからね。

策定委員会のメンバーは、猿ヶ石川の上流から下流まで、本当にユニークな活動をされている方々でしたから、面白かったです。一本の川で結ばれた生

活空間の違う者たちが一同に会し、意識を共有しながら交流し合えたのは、意義深かったと思います。

平成 18 年にビジョンが策定されてから、もう 7 年が経過したので、このビジョンをたたき台にして、地域住民が主体となって、夢物語ではなく、より現実的なビジョンが提言できないかと考えています。

来年は田瀬ダムが完成

してから 60 年ですよ。この機会をとらえて、何か上流と下流の市民がつながりを深められるようなイベントが組めたらいいと思います。イベントは人間関係を育てるんです。

その意味でも、ビジョンの推進に関わっている方々の役割は大きいんだと思いますよ。猿ヶ石川流域の活性化に結びつく活動ができればと思います。

自然ウォッチング 猿ヶ石川の野鳥 File No.3



オシドリ(♂ 全長約 45 cm: 東和大橋にて)

雄は一度見たら忘れられないほど美しい。雌は灰褐色と異なる。クイツ、クエツと鳴く。一年中いて、大木の樹洞に巣を作り卵を産み育てるといふ。猿ヶ石河畔のどこに巣をつくっているのか、興味深い。(写真提供: とうわ野鳥の会)

猿ヶ石川流域インフォメーション

9/29

猿ヶ石川流域をまるごと体験できる！

マイリバー猿ヶ石

猿ヶ石川流域の市民・親子を対象に、上流にある森林体験や猿ヶ石川流域での水辺体験を通じ、ふだん何気なく見ている猿ヶ石川への理解と環境保全、更に森林と河川という水循環について考える機会となることを願い開催します。

【日時】平成 25 年 9 月 29 日(日)

【時間】午前 9 時～ 15 時

【集合場所】遠野麦酒苑(宮守町柏木平 ☎0198-66-2011)

【参加費】1,000円

(昼食、保険料込)

【持ち物】作業できる服装、長靴、飲み物、雨具(カッパ)

【内容】

午前:森林体験(間伐・枝打ち)

昼:川の味覚体験

(梁漁見学、アユ塩焼き食事)

午後:水辺体験(水生生物観察 & ザリガニ釣り)

*雨天時も、内容を一部変更して行います。

【申し込み】

マイリバー猿ヶ石実行委員会

☎&FAX 0198-64-2250(千葉)



9/24

猿ヶ石川を活用したイベントに向けて…

カッパの川流れエリア調査

ライフジャケットを着用して、川の流りに身を任せて流れると、ゴムボートの川下りとはまたひと味違う面白さがあります。猿ヶ石川は、多くのカッパ伝説を生んだ川です。そこで田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会では、このレジャーを「カッパの川流れ」と称して、猿ヶ石川流域での新たな体験型観光メニューとして発掘できないかと考え、下記日程にて現地調査を行うことにしました。興味ある方はお問い合わせ下さいませ。

【日時】平成 25 年 9 月 24 日(火)午前 10 時～ 12 時

【集合】遠野麦酒苑駐車場

【参加費】無料

【持ち物】防寒着、長靴、双眼鏡(ある方)

【問合せ】田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会

☎&FAX 0198-64-2250(千葉)



技術を身につけ山の手入れを始めよう!!

10/13

山仕事はじめての一步(入門)講座

植林された後、手つかずの真っ暗な山林が多くあります。みなさんのお持ちの山や地域の山は、どんな姿でしょうか?一本でも多くの木を間伐するため、森林ボランティア

を育成する講座が昨年引き続き行われています。平成 26 年 3 月まで、毎月第 2 日曜日の開催。今年は女性も 6 人ほど参加しています。あなたも、この機会に山仕事の技術を身につけてみませんか。

【日時】平成 25 年 10 月 13 日(日)午前 9 時～午後 3 時

【集合】遠野市総合福祉センター駐車場

【参加費】¥3,000(1 年分)

【持ち物】昼食、飲み物、作業着、筆記用具、チェーンソー(ある方)

【申し込み】遠野エコネット ☎0198-64-2250(千葉)



Q

以前、田瀬湖で発生したアオコって何ですか?

川豆辞典

A

アオコとは、富栄養化が進んだ湖沼等において、「ラン藻」や「シアノバクテリア」と呼ばれる植物プランクトンが大量に増殖し、水面が緑色の粉をまいたようになることです。アオコが発生すると、異臭があることや、他の水生植物の生育を阻害するために、魚類の産卵や生育にも影響が出るなど、人間生活にも悪影響があります。田瀬ダムでは、曝気装置を導入し対策を行っていますが、流域に暮らす人々の水環境への気配りが求められます。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.3

「猿ヶ石川通信」平成 25 年 9 月号

発行日:平成 25 年 9 月 17 日

発行:田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会

☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3

☎ 0198-44-5211

編集:一般社団法人いわて流域ネットワーク

問合せ:☎ & FAX 0198-64-2250(千葉)

E-mail:pahaya@tonotv.com

思っています。(千葉)

石川」の基本理念を再確認しながら、新たな未来を描くきっかけの年になればと思います。(千葉)

来年は田瀬ダムが竣工してから 60 年という節目の年となります。田瀬ダム水源地域ビジョンが掲げる「水清く緑萌え 心が通う猿ヶ石川」の基本的な理念を再確認しながら、新たな未来を描くきっかけの年になればと思います。(千葉)

編集後記

4 月の田瀬湖一斉清掃 & ごみ川柳大会に参加した皆様、お疲れさまでした。今年

は、初めての試みでしたが、田瀬地区民をはじめとし

た多くの方々のご協力のもと、爽やかな汗を流しながら、田瀬湖の環境改善への

第一歩が踏み出せたのではないかと思います。

来年は田瀬ダムが竣工してから 60 年という節目の年

となります。田瀬ダム水源地域ビジョンが掲げる「水

清く緑萌え 心が通う猿ヶ石川」の基本的な理念を再確認

しながら、新たな未来を描くきっかけの年になれば

と思います。(千葉)

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.3

「猿ヶ石川通信」平成 25 年 9 月号

発行日:平成 25 年 9 月 17 日

発行:田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会

☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3

☎ 0198-44-5211

編集:一般社団法人いわて流域ネットワーク

問合せ:☎ & FAX 0198-64-2250(千葉)

E-mail:pahaya@tonotv.com